

公共事業再評価調書

整理番号 H19-1

担当部課名	県土整備部 道路課	電話番号	017-734-9651
		E-MAIL	doro@pref.aomori.lg.jp

再評価実施要件	未着工	長期継続 (年)	再評価後 (年)	その他 (計画の大幅な見直し)
---------	-----	------------	------------	-------------------

1 事業概要

事業種別	道路事業	事業主体	県 市町村 其他 ()				
事業名	地方特定道路建設整備事業	地区名等	松代町陸奥赤石(停)線 深谷町 市町村名 鱒ヶ沢町				
事業方法	国庫補助 県単独 財源・負担区分	国 % 県 100 % 市町村 % 其他 %					
採択年度	平成 10 年度 (用地着手 平成 14 年度 / 工事着手 平成 15 年度)						
終了予定年度	平成 30 年度 (平成 年 月 工期変更 当初計画時 平成 年度)						
事業目的	<p>・一般県道松代町陸奥赤石停車場線は西津軽郡鱒ヶ沢町大字松代町の主要地方道弘前岳鱒ヶ沢線との交差点を起点とし、同町陸奥赤石停車場に至る延長約17.4kmの路線である。本路線は岩木山からミニ白神や赤石溪流、くろくまの滝を經由し白神山地に至る、津軽西部の主要観光地をつなぐルートの一部を構成する重要な観光道路であり、沿線集落と鱒ヶ沢町市街地を結ぶ生活道路でもある。本路線のうち深谷町工区は改良工事が行われておらず通行不能区間となっており、その解消のため第1期工区として3種4級、設計速度30km/hの規格でバイパス事業を実施している。</p>						
主な内容	区 分	当初計画時(全体計画)	再評価時	増 減			
	計画延長	3,170 m (7,360m)	6,680 m	3,510 m			
	計画幅員	5.5(7.0) m (5.5(7.0)m)	5.5(7.0) m	0 m			
	改良工	3,170 m (7,340m)	6,646 m	3,476 m			
	舗装工	24,180 m ² (53,370m ²)	46,216 m ²	22,036 m ²			
	橋梁工	0基(2基)	3基	3基			
	<p>・事業計画については、今回ルート変更による計画の大幅な見直しを行っており、当初計画時に比較し延長3,510mの増工に伴い、改良工3,476m、舗装工22,036m²増の他、橋梁工3橋が追加されている。</p> <p>・事業費については、当初計画3,730百万円(全体5,500百万円)に比較し、今回2,624百万円となり1,106百万円(全体2,876百万円)の大幅な減額となる(別図:P3による)。</p> <p>・以下「事業費」、「事業の進捗状況」については、別紙による。</p>						
事業費	当初計画時総事業費 百万円 (単位:百万円)						
		~16年度	17年度	18年度	19年度	小 計	20年度~ 合 計
	計 画 (うち用地費) 年 月 変 更				別紙		
	実 績 (うち用地費)						

2 評価指標及び項目別評価

(1) 事業の進捗状況

A · (B) · C

事業の進捗状況	事業費割合 (うち用地費)		計画全体に対する進捗	年次計画に対する進捗
			% [/]	% [/]
			(%) [/]	(%) [/]
	主要工種 毎割合 (事業費)	(百万円)	別紙 %	%
	(百万円)	%	%	
	(百万円)	%	%	
説 明	<p>(当初計画) ・本路線の深谷町工区は、通行不能区間約1.3kmと未改良を解消するため、全体計画延長はL=7,360mで計画しており、このうち第1期工区として施工延長L=3,170mの事業を行っている。 ・第1期工区のうち起点側460mについては改良・舗装工事ともに完了しているが、計画全体では8.0%、年次計画で16.8%と低調となっている。 (計画見直し) ・ルート変更に伴い、平成18年度までの進捗率は0%となる。また、平成19年度予算を執行した場合の進捗率は、計画全体では0.8%、年次計画で9.1%となる見込みである。</p>			
問題点・解決見込み	<p>(当初計画) ・事業の進捗率と残事業費が多額(3,432百万円)であることを考慮すると、完成までには長期間を要することが見込まれる。また、当工区が完成しても全線の開通にいたらず、完全な解消を図るには残る2期工区に1,770百万円を経費を要し、全体額は3,730+1,770=5,500百万円となるため、更に多額の費用と時間を要する。 (計画見直し) ・ルートの見直しにより、いちからの作業となることから、一定の時間を要す。</p>			
事業効果発現状況	<p>(当初計画) ・供用されている起点側(松代町側)460mについては、沿線田畑の農耕作業の利便性向上に寄与しているが、それに続く区間の施工は行われていない。 (計画見直し)</p>			

(2) 社会経済情勢の変化

(A)・B・C

社会的評価	全国・本県における評価	<p>〔全国の評価〕</p> <p>・平成15年10月に閣議決定された「社会資本整備重点計画」では、道路整備事業について、透明性の高い、効果的かつ効率的な道路整備を推進し、社会・経済の活性化と暮らしの豊かさの向上を図ることとしている。</p>	<p>〔県内の評価〕</p> <p>・公共交通機関が未整備である本県にとって、自動車を主とする交通に頼らざるを得ない状況であるが、県内の道路は未整備区間が多く、さらに豪雪地帯であるため、冬期の安全確保や社会基盤整備としての道路整備に対する要望は多い。</p>
	当地区における評価	<p>・当該工区の通行不能が解消されることにより、岩木山・ミニ白神方面から種里城址・赤石溪流、くろくまの滝や白神山方面へのアクセスが向上し、鱒ヶ沢町をはじめ津軽西部の主要観光地の活性化が見込まれるとともに、集落間の移動の利便性の向上が図られるため、鱒ヶ沢町より整備促進の要望が出されている。</p>	
必要性	<p>・当該路線は県管理道路であるため、青森県が事業主体となって行う必要がある。</p> <p>・鱒ヶ沢町の主要観光地であるミニ白神や種里城址・赤石溪流、くろくまの滝へのアクセス向上を図り、また岩木山から白神山に至る、津軽西部の主要観光地をつなぐルートの一部を構成する重要な観光道路であるため整備を促進する必要がある。</p> <p>・当該区間は現在通行不能となっており、松代町・深谷町地域から種里町・南金沢地域への通過が出来なくなっているため通行不能区間の解消を図るか、または代替道路の整備を図る必要がある。</p> <p>・代替道路としては深谷町から南金沢町につながる町道山子黒森線が考えられ、現在も本路線が代替路として使用されているものの、1車線道路であり、観光バスがすれ違えない状況にあり整備が必要である。</p>		(a)・b
適時性	<p>・当初計画では、通行不能区間L 1.3kmの解消とともに、未改良区間L 2.7km(うち未舗装L=1.6km、最小幅員W_{min}=2.5m)の整備を早期に行う必要がある。しかしながら、当初計画の1期工区の整備により通行不能区間の解消がなされるものの、未改良区間の整備も含めると残事業量が膨大になり整備を進めていくことが難しい。</p> <p>・町道が代替道路として利用されているが、1車線道路で観光バスがすれ違えない状況であり、生活・観光道路として支障を来していることから、早期に整備する必要がある。</p>		(a)・b
地元の推進体制等	<p>・当初計画(1期工区)においては約55%の用地取得が完了しており、残りの用地については民有地と国有林野があるが用地の取得には至っていない。</p> <p>・当初計画に変わり、町道山子黒森線を県道認定し整備することは、鱒ヶ沢町に説明し了解を得ている。</p>		(a)・b
効率性	<p>・2車線確保により、沿線集落の利便性の向上や観光ルートとしての利用が見込まれる。</p>		

(3) 費用対効果分析の要因変化

(A)・B・C

区分	主な項目	当初計画時	再評価時	増減
費用項目 (C)	(1)事業費	- 百万円	1,888 百万円	- 百万円
	(2)維持修繕費	- 百万円	352 百万円	- 百万円
	(3)	- 百万円	百万円	- 百万円
	(4)	- 百万円	百万円	- 百万円
	(5)	- 百万円	百万円	- 百万円
	総費用	- 百万円	2,240 百万円	- 百万円
便益項目 (B)	(1)走行時間短縮便益	- 百万円	1,643 百万円	- 百万円
	(2)走行費用減少便益	- 百万円	39 百万円	- 百万円
	(3)冬期便益	- 百万円	1,162 百万円	- 百万円
	(4)防災便益	- 百万円	313 百万円	- 百万円
	(5)	- 百万円	百万円	- 百万円
	総便益	- 百万円	3,157 百万円	- 百万円
B / C			1.41	
<p>【費用対効果分析手法】(分析手法、根拠マニュアル等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共事業評価の費用便益分析に関する技術指針(平成16年2月 国土交通省) ・費用便益分析マニュアル(平成15年8月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局) ・道路整備事業における県独自の費用便益分析実施要綱(平成18年10月 青森県) <p>【費用対効果分析における特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県単独事業のため、当初計画時に費用対効果分析は行っていない。 ・再評価時の数値は、計画の見直しを行った場合のものである。 				

(4) コスト縮減・代替案の検討状況		(A) · B · C
コスト縮減	<p>【コスト縮減の検討状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当初計画の県道整備では、急峻な山地部を縫って通るルートであるため、大土工や構造物の施工は避けられず、膨大な予算が必要となり、町道山子黒森線の現道拡幅とバイパス組み合わせによる整備の方が約1億1千万円（全体2.9億円）のコスト縮減となる。 	(a) · b
代替案	<p>【代替案の検討状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県道の通行不能区間の解消という目的に対し、南金沢町から深谷町に至る町道山子黒森線の整備（現道拡幅及び一部バイパス）を行い、代替路とする案は費用面、事業期間の面から現実的で最適な案である。 	(a) · b

(5) 評価に当たり特に考慮すべき点		(A) · B · C											
住民ニーズの把握状況	<p>【住民ニーズの把握方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鯉ヶ沢町から県土整備部に対し整備促進の要望が出されている。 	<p>【住民ニーズ・意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本路線は、鯉ヶ沢町及び津軽西部の主要観光地を結ぶ重要な路線であり、沿線集落と鯉ヶ沢町市街地を結ぶ生活道路でもあるため、早期の道路改良の促進が求められている。 	(a) · b										
環境影響への配慮	<p>【地域別環境配慮指針への対応】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地域区分</th> <th>Tn7a</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1)対応状況</td> <td>配慮している 配慮していない</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2)対応内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の社会生活を支える基盤として、水害や地滑り等の自然災害の防止に配慮した安全で快適な道路の整備に取り組んでいる。 ・ルートの選定に当たっては環境に与える影響の低減を図っているが、県道改築に替わる町道の改良は現道を有効に活用できるため周辺に与える影響はより少ない。 ・計画にあたっては、環境への影響について専門家からアドバイスを頂くこととする。 	地域区分	Tn7a	(1)対応状況	配慮している 配慮していない	<p>【開発事業等における環境配慮指針への対応】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>(1)対応状況</th> <th>配慮している</th> <th>配慮していない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1)対応状況</td> <td>配慮している</td> <td>配慮していない</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2)対応内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事を行う際は、地域の生活環境に配慮し、低排出ガス、低騒音並びに低振動の重機械を使用しする。 ・表土露出箇所については、景観保全や土砂流出に配慮し、植生を行う。 	(1)対応状況	配慮している	配慮していない	(1)対応状況	配慮している	配慮していない	(a) · b
地域区分	Tn7a												
(1)対応状況	配慮している 配慮していない												
(1)対応状況	配慮している	配慮していない											
(1)対応状況	配慮している	配慮していない											
地域の立地特性	<ul style="list-style-type: none"> ・当該地区は、過疎地域、振興山村地域、特別豪雪地帯、積雪寒冷特別地域に指定されている。 ・12月1日から4月20日まで8.1kmの冬期閉鎖区間がある。 ・通行不能区間がある。 												

3 対応方針(事業実施主体案)

総合評価	継続	計画変更	中止	休止（林政課及び漁港漁場整備課所管事業に限る）															
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・第1期工区の残事業費が約34億円と膨大であるとともに、当該区間の完成後も第2期工区に約18億円を投入し整備を進めなければならないことから、当該区間の機能を町道の改良によって代替させた方が費用面・期間面で大幅に有利であり、対応方針は「計画変更」とした。 																		
備考	<p>計画変更の内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工事対象道路</th> <th>一般県道松代町陸奥赤石停車場線</th> <th>町道山子黒森線</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1期工区</td> <td>計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2期工区</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>L = 3,170 + 4,190 = 7,360 m</td> <td>L = 6,680m</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>C 3,730 + 1,770 = 5,500百万円</td> <td>C 2,624百万円</td> </tr> </tbody> </table>				工事対象道路	一般県道松代町陸奥赤石停車場線	町道山子黒森線	1期工区	計		2期工区			計	L = 3,170 + 4,190 = 7,360 m	L = 6,680m	事業費	C 3,730 + 1,770 = 5,500百万円	C 2,624百万円
工事対象道路	一般県道松代町陸奥赤石停車場線	町道山子黒森線																	
1期工区	計																		
2期工区																			
計	L = 3,170 + 4,190 = 7,360 m	L = 6,680m																	
事業費	C 3,730 + 1,770 = 5,500百万円	C 2,624百万円																	

4 公共事業再評価審議委員会意見

委員会意見	対応方針（案）どおり	対応方針（案）を修正すべき
委員会評価	継続	計画変更 中止 休止（林政課及び漁港漁場整備課所管事業に限る）
附帯意見		
評価理由		

(別 紙)

整理番号 H19 - 1

事業費

(単位:百万円)

		~16年度	17年度	18年度	19年度	小計	20年度~	合計
当初計画	計画					1,776	1,954	3,730
	(うち用地費)	()	()	()	()	(42)	(46)	(88)
計画実績	実績	278	0	0	20	298	3,432	3,730
	(うち用地費)	(48)	(0)	(0)	(0)	(48)	(40)	(88)
		~16年度	17年度	18年度	19年度	小計	20年度~	合計
計画見直し	計画					219	2,405	2,624
	(うち用地費)	()	()	()	()	(29)	(322)	(351)
計画見直し	実績	0	0	0	20	20	2,604	2,624
	(うち用地費)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(351)	(351)

事業の進捗状況

		計画全体に対する進捗	年次計画に対する進捗
当初計画	事業費割合	8.0 % [/]	16.8 % [/]
	(うち用地費)	(54.5 %) [/]	(114.3 %) [/]
	主要工種	改良工 (3,202百万円)	1.5 %
	毎割合	舗装工 (103百万円)	17.2 %
計画実績	(百万円)	%	%
		計画全体に対する進捗	年次計画に対する進捗
計画見直し	事業費割合	0.8 % [/]	9.1 % [/]
	(うち用地費)	(0.0 %) [/]	(0.0 %) [/]
	主要工種	改良工 (1,714百万円)	0 %
	毎割合	舗装工 (401百万円)	0 %
計画見直し	橋梁工 (120百万円)	0 %	0 %